

令和5年度大学入学共通テストにおける得点調整について

「大学入学共通テスト受験案内」から抜粋

2 得点の調整

(1) 得点調整について

大学入学共通テストの本試験において、次の各科目間で、原則として、20点以上の平均点差が生じ、これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行います。

ただし、受験者数が1万人未満の科目は得点調整の対象としません。

- ① 地理歴史の「世界史B」「日本史B」「地理B」の間
- ② 公民の「現代社会」「倫理」「政治・経済」の間
- ③ 理科②の「物理」「化学」「生物」「地学」の間

(2) 得点調整実施の有無の発表

得点調整の実施の有無は、令和5年1月20日（金）（予定）に発表します。得点調整を行う場合は、対象となる科目の得点の換算表を大学入試センターのホームページ（➡裏表紙）で発表します。

(3) 得点調整の方法

- ① 得点調整は、(1)の①～③のグループごとに、「分位点差縮小法」*という方式を用いて行います。
- ② 得点調整に当たっては、対象となる受験者と対象とならない受験者間での公平性の観点から、平均点差の全てを調整するのではなく、調整後も平均点差が15点（通常起り得る平均点の変動範囲）となるようにします。

*「分位点差縮小法」とは、得点調整の対象となる科目のうち、最も平均点の高い科目と最も平均点の低い科目の得点の累積分布を比較し、図の縦軸の受験者数の累積割合（%）が等しい点（等分位点）の差（分位点差）を、一定の比率で縮小する方式です。

また、平均点が最大及び最小以外の科目についても、素点の平均点差が同一の比率で縮小されるよう調整します。縮小の比率は、 $15 \text{ 点} \div (\text{最も平均点の高い科目の平均点} - \text{最も平均点の低い科目の平均点})$ とします。

この方式により、最も平均点の低い科目の得点の累積分布は、図中の点線で描かれた分布に移動することとなります。この点線の分布が調整後の得点の累積分布となり、横軸上の素点から矢印に沿って進み、再び横軸上に戻った点が調整後の得点となります。

得点の累積分布図

